



自動追尾アプリケーション 使用説明書

目次

はじめに.....	3
使う前に知っておいてください	3
追尾アプリでできること	3
本書の読みかた	3
動作環境	3
アプリを起動／終了する	4
アプリを起動する	4
アプリの設定画面を開く	5
アプリを終了する	5
画面の構成	6
追尾実行画面	6
設定ウィザード	7
準備する	8
設定の流れを確認する	8
設定可能な領域	8
設定の流れ	10
自動追尾撮影の設定を行う	11
Step1 パン／チルト可能な撮影範囲を設定する	11
Step2 初期位置を設定する	12
Step3 優先表示領域／画角固定領域を設定する	13
Step4 追尾対象を自動で選択する	14
Step5 構図を設定する	15
Step6 自動選択除外領域を設定する	16
撮影する	17
自動追尾撮影を開始する／終了する	17
自動追尾の開始／終了	17
自動追尾実行中に設定を調整する	18
追尾対象について	18
その他	19
トラブルシューティング	19
エラーメッセージ	20
商標文	21
第三者のソフトウェア	21

はじめに

この使用説明書は、自動追尾アプリケーション RA-AT001（以下、「自動追尾アプリ」または「アプリ」）の設定や操作方法について説明しています。ご使用前によくお読みになり、本アプリケーションを正しく利用してください。

使う前に知っておいてください

本アプリケーションは自動追尾アプリに対応したキヤノン製リモートカメラ（以下、「カメラ」）専用です。インストールのしかたについては、インストールガイドをご覧ください。

本アプリケーションは画像処理を使用して追尾対象を検出*しますが、撮影環境（撮影設定、追尾対象の速度等）によっては、対象を誤検出したり、取り違えたり、ロスト（見失う）したりすることがあります。本アプリケーションは、追尾対象の誤検出やロスト時にオペレータによる補正作業ができる環境にてご使用ください。

本アプリケーションの使用により発生したいかなる結果についても、一切の責任を負いかねます。

* 顔認証には対応していません。

追尾アプリでできること

本アプリケーションは、追尾対象の動きに合わせて、パン／チルト／ズーム動作を自動で行うアプリケーションです。本アプリケーションでは主に次のようなことができます。

選択した対象を追尾しながらの自動撮影

- 追尾対象を自動で選択できる。
- 追尾対象の大きさに合わせて自動でズームできる。
- 追尾対象の動きに合わせてパン／チルト／ズームの速度を調整できる。

カメラの操作や機能については、カメラの使用説明書をご覧ください。また、カメラの初期設定は本アプリケーションを使用する前に行ってください。

お使いのカメラによって、対応していない機能や設定があります。詳細については、キヤノンのホームページをご覧ください。

本書の読みかた

本書で使用するアイコンや表記の意味は次のとおりです。



重要事項や制限事項が書かれています。必ずお読みください。



操作の参考となることや補足説明が書かれています。

- 本書中の画面は、Windows 10 が動作するパソコンで表示されるものを使用しています。

動作環境

本アプリケーションの動作環境については、カメラの使用説明書をご確認ください。




メモ

モバイル環境で使用するときは、画面サイズ10インチ以上、横向き画面での使用を推奨します。

アプリを起動／終了する

アプリを起動する

アプリの起動はカメラの設定ページから行います。管理者アカウントのみが行えます。

- 1 カメラの設定ページ >  システム > [システム] > [アドオン]を開く
- 2 [アドオンリスト]から起動したいアプリを選択する
- 3 [起動/停止] > [起動]をクリックする

選択したアプリが起動し、ステータスが「動作中」に変わり、「アドオンリスト」の「動作中」にチェックがつきます。

メモ

[自動起動]を[On]にすると、カメラを立ち上げたときにアプリも自動的に起動されます。

アドオン

アドオンの管理

追加/更新

アドオンリスト

空き容量

ロッキングコード

...

インストール

名前	動作中
Auto Tracking Application RA-AT001	✓

削除

21024 KB (20.5 MB)

XXXXXXXXXXXX

Auto Tracking Application RA-AT001

ベンダー

起動/停止

バージョン

ライセンス

Canon Inc.

動作中 停止

1.0

...

インポート

有効: お試しライセンス
- 2023/2/3

削除

アドオンのトップページ

自動起動

ログ

開く

On

表示

ダウンロード

アプリの設定画面を開く

アプリの設定画面はカメラの設定ページから開きます。

1 カメラの設定ページ > [📷 カメラ制御1] > [⋮ その他機能] > [アドオン]の[表示]をクリックする

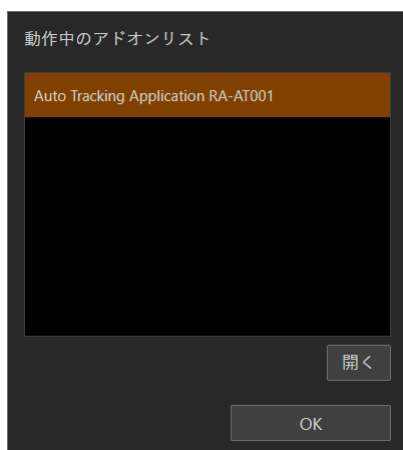
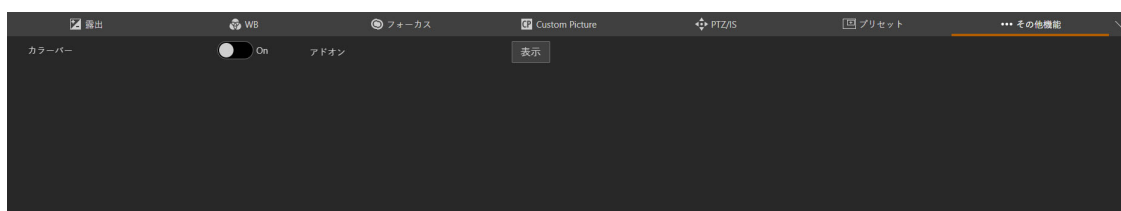
動作中のアドオンリストが表示されます。

2 [動作中のアドオンリスト]から起動したいアプリを選択し、[開く]をクリックする

本アプリの設定画面のウィンドウが表示されます。

📌 メモ

- 1つのカメラに対しては、同時にPTZ操作を有する複数のアプリの設定画面を開いて操作をしないでください。
- [表示]が選択できないときや、[動作中のアドオンリスト]に対象のアプリが表示されていないときは、管理者アカウントでアプリを起動してください（P. 4）。
- 管理者アカウントの場合、カメラの設定ページ > [⚙️ システム] > [システム] > [アドオン]の[アドオンリスト]から起動したいアプリを選択し、[アドオンのトップページ] > [開く]からも設定画面を開くことができます。



アプリを終了する

アプリの終了はカメラの設定ページから行います。管理者アカウントのみが行えます。

1 カメラの設定ページ > [⚙️ システム] > [システム] > [アドオン]を開く

2 [アドオンリスト]から終了したいアプリを選択する

3 [起動/停止] > [停止]をクリックする

停止すると設定画面が閉じ、ステータスが[停止]に変わり、[アドオンリスト]の[動作中]からチェックが解除されます。

画面の構成

追尾実行画面



設定ボタン





自動追尾撮影の設定ウィザードを開きます。

初期化ボタン

自動追尾撮影の設定を初期化します。

マウス動作選択ボタン

映像表示部の左上にあるボタンをクリックすることで、映像をクリックした際の動作を切り換えることができます。以下の4つのモードがあり、設定項目に応じて使用します。なお、設定画面によって選択できるモードが異なります。

項目	動作
 クリックセンタリング	クリックした位置が画面中心となるようにカメラアングルを移動します。
 追尾対象選択	クリックした対象を追尾対象として指定します。
 シルエット操作	シルエットをドラッグすると、移動します。
 領域設定	映像表示部に表示されている領域の大きさや位置をドラッグして変更します。

言語選択リスト

表示する言語を選択します。

アプリ情報

アプリの情報を確認できます。

設定ウィザード



設定エリア

追尾動作の詳細設定を行うエリアです。

映像表示部

カメラの映像が表示されます。

パンスライダー

カメラアングルを左右に動かします。◀または▶ボタンで位置を微調整します。

チルトスライダー

カメラアングルを上下に動かします。▲または▼ボタンで位置を微調整します。

ズームスライダー

上方向に移動するとズームイン (望遠)、下方向に移動するとズームアウト (広角) します。
TまたはWボタンで位置を微調整します。

次へボタン

次の設定ウィザードに移動します。

前へボタン

前の設定ウィザードに移動します。

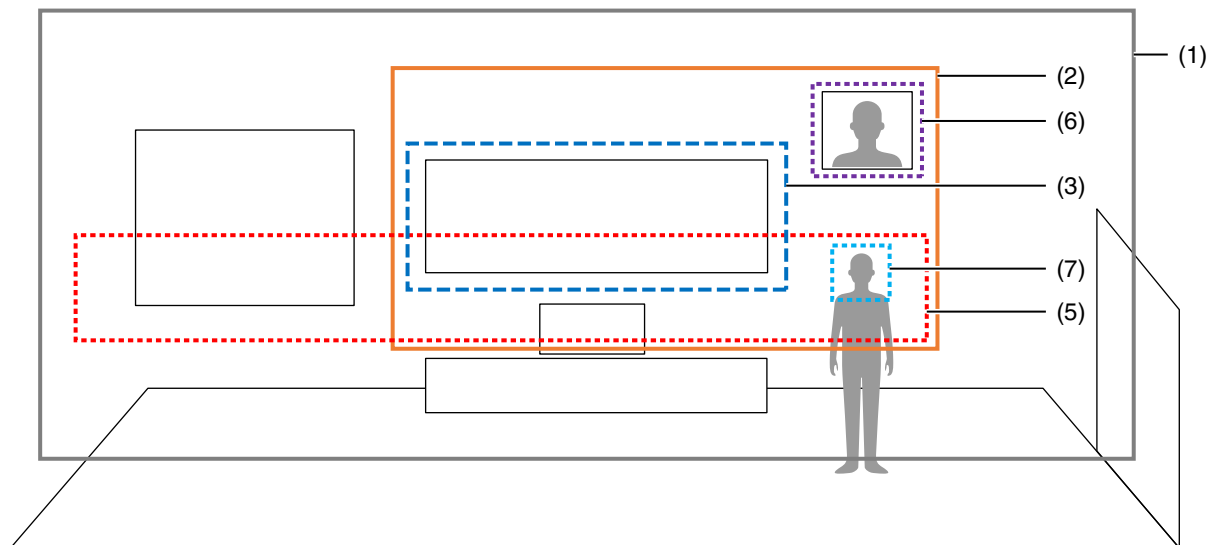
準備する

設定の流れを確認する

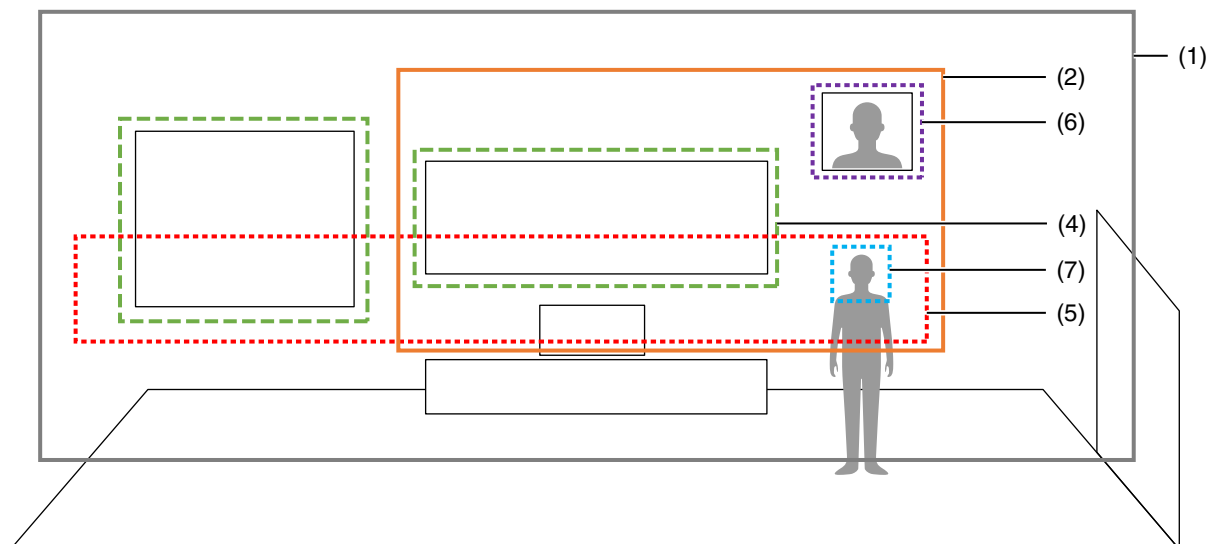
■ 設定可能な領域

自動追尾機能を設定するとき使用する領域について説明します。

優先表示領域を使用するとき



画角固定領域を使用するとき



□ : 撮影範囲

□ : 初期位置

□ : 優先表示領域

□ : 画角固定領域

□ : 自動選択領域

□ : 自動選択除外領域

□ : パン／チルト停止領域

(1) **撮影範囲**

リモートカメラのパン／チルト動作により撮影可能な領域（P. 11）

(2) **初期位置**

自動追尾開始時の初期位置（P. 12）

(3) **優先表示領域**

優先して表示したい領域（黒板、ホワイトボードなど）（P. 13）

(4) **画角固定領域**

追尾対象が動いていても画角を固定する領域（P. 13）

(5) **自動選択領域**

自動的に追尾対象を探索する領域（P. 14）

(6) **自動選択除外領域**

追尾対象を探索しない領域（ポスター、写真など）（P. 16）

(7) **パン／チルト停止領域**

追尾対象が内側にいる場合、パン／チルト動作を行わない領域（P. 15）



重 要

- 優先表示領域と画角固定領域は同時に設定できません。
- 初期位置は撮影範囲内に設定してください。
- 画角固定領域は撮影範囲内に設定してください。
- 自動選択領域と自動選択除外領域が重なった場合、自動選択除外領域が優先されます。
- 撮影時の状況によっては、以下の現象が起きることがあります。
 - 撮影範囲の外側を撮影してしまう
 - 優先表示領域の画角から見切れて撮影してしまう
 - 画角固定領域からずれて撮影してしまう
 - 自動選択除外領域内に存在する人物を自動選択してしまう

■ 設定の流れ

自動追尾撮影の設定は設定ウィザードで行います。使用開始前に、撮影状況や目的に合わせて設定してください。設定は次の6つのステップで行います。

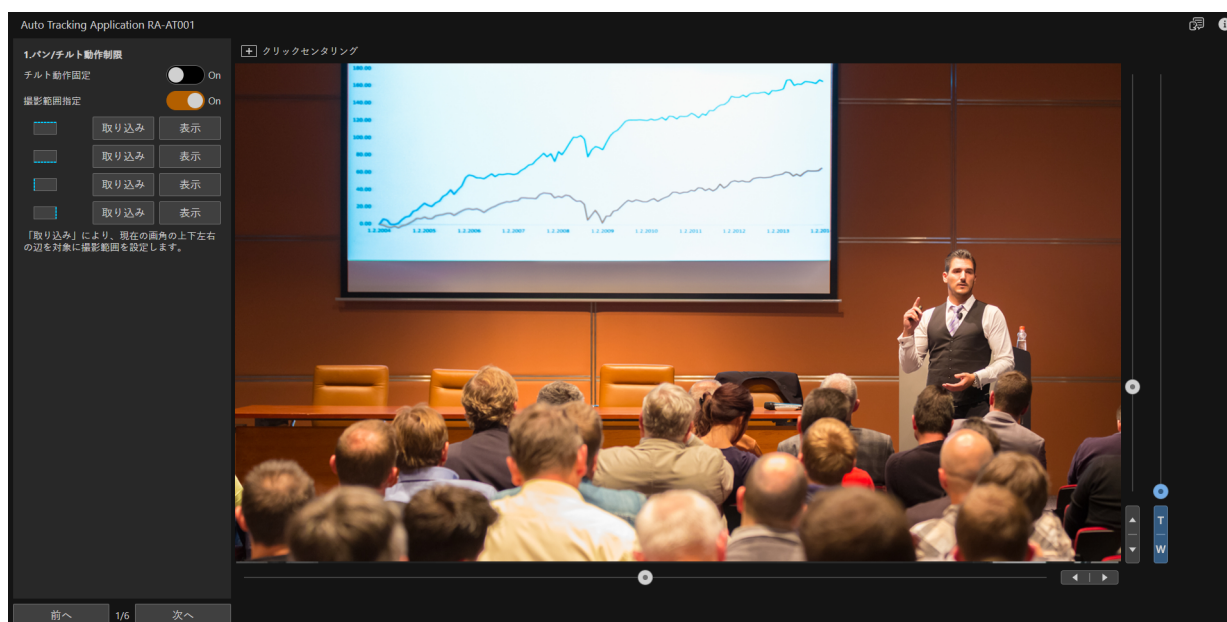


自動追尾撮影の設定を行う

各Stepでの設定項目を説明します。各設定ウィザードにおいて、[次へ]/[完了]ボタンをクリックしたときに設定が保存されます。クリックする前にアプリを停止したり、カメラの電源を落とすと変更していた設定は保存されません。

■ Step1 パン／チルト可能な撮影範囲を設定する

カメラがパン／チルト可能な画角（撮影範囲）を設定します。



1 設定エリアの各項目を設定する

[チルト動作固定]

[On]にすると、追尾中にチルト動作を行いません。

[撮影範囲指定]

撮影範囲の上下左右端をそれぞれ指定します。講義の撮影において、生徒など映したくない被写体があるときは、それらを含まない領域を撮影範囲に設定にしてください。

- (1) パン／チルト／ズームスライダーを使って、設定したい画角を表示する
- (2) 設定したい辺の[取り込み]をクリックする
 - [チルト動作固定]を[On]にしているときは、上端、下端は設定できません。
- (3) 操作(1)～(2)を繰り返して、撮影範囲の4辺を設定する

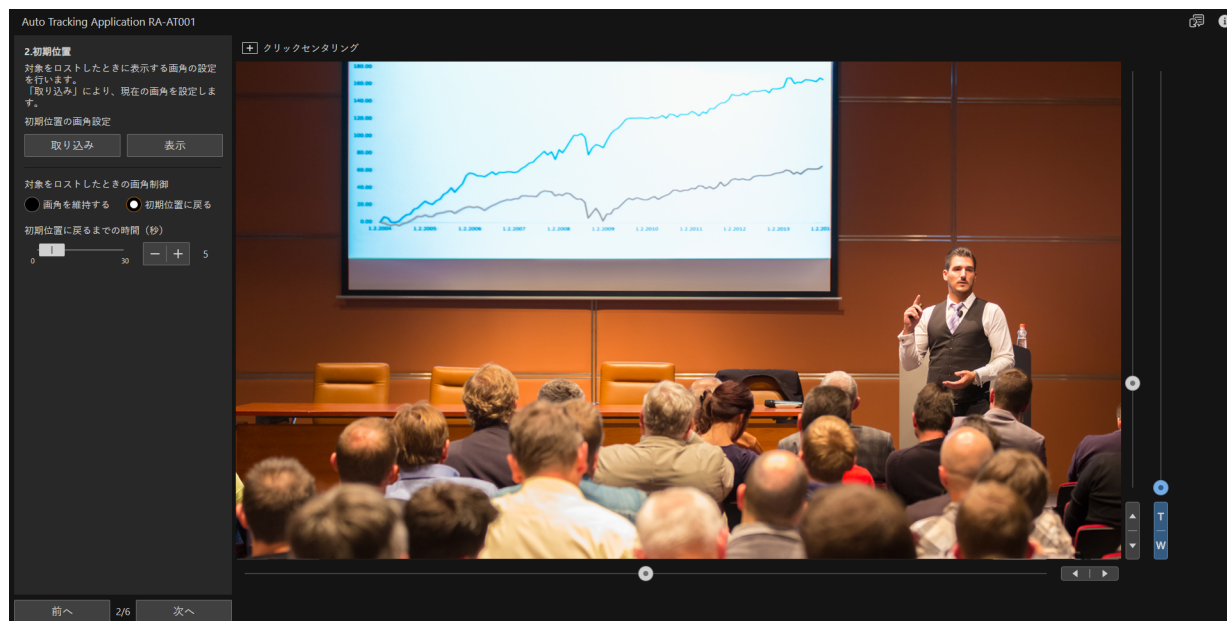
メモ

[表示]をクリックすると、設定した辺の画角を表示します。

2 [次へ]をクリックする

Step2 初期位置を設定する

追尾開始時の画角（初期位置）を設定します。初期位置は、追尾撮影中に追尾対象をロストしたときの移動先の画角としても使用します。



1 初期位置を設定する

パン／チルト／ズームスライダーで、設定したい画角を表示し、[取り込み]をクリックして設定してください。

メモ

- 初期位置は、追尾対象をロストした際、いったん引いた画角で対象の再検出を待つための領域です。撮影領域内の全体を見渡せる領域を設定してください。
- [表示]をクリックすると、現在設定されている画角を表示します。

2 [対象をロストしたときの画角制御]を選択する

[画角を維持する]

それまでの画角を維持します。講義映像の撮影シーンなどにおいて、追尾対象が会場から退出したり、講義中に後ろを向くときなど、対象をロストしたときの画角を維持したいときに使用します。

[初期位置に戻る]

一定時間経過後、初期位置の画角に戻ります。

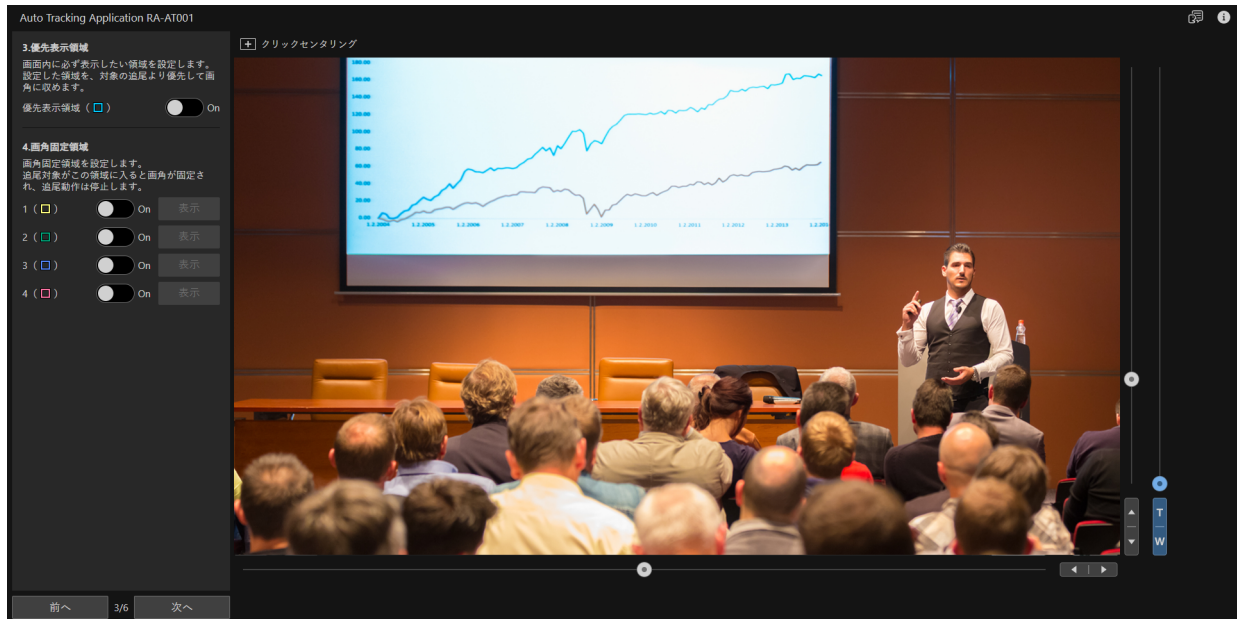
3 [初期位置に戻るまでの時間(秒)]を設定する

操作2で[初期位置に戻る]を選んだときは、対象のロスト後、初期位置に戻るまでの待機時間を設定します。

4 [次へ]をクリックする

Step3 優先表示領域／画角固定領域を設定する

追尾中に優先的に撮影する領域（優先表示領域）や追尾対象が入ったときに画角を固定したい領域（画角固定領域）を設定します。優先表示領域と画角固定領域は同時には設定できません。画角固定領域は4個まで設定できます。



1 優先表示領域を設定する

優先表示領域は、対象の追尾よりも優先して画角に収める領域です。黒板やスクリーンなど、常に撮影したい領域があるときは、優先表示領域を使用してください。

- (1) [優先表示領域]を[On]にする
 - 映像表示部に枠が表示されます。
- (2) 枠の位置とサイズを調整する
 - 枠の内部をドラッグすると枠の位置を変更できます。
 - 枠の外周をドラッグすると枠サイズを変更できます。

2 画角固定領域を設定する

画角固定領域は、対象が領域内にいるときに画角を動かさず撮影する領域です。黒板の前や講演台など、特定の位置から離れる場合のみ追尾を行いたいときは、画角固定領域を使用してください。

- (1) [画角固定領域]の[1]～[4]のいずれかを[On]にする
 - 映像表示部に[On]にした画角固定領域に対応した色の枠が表示されます。
- (2) 枠の位置とサイズを調整する
 - 枠の位置やサイズを調整するときは、マウス動作選択ボタンを[領域設定]にして操作します。
 - 画角を変更するときは、パン／チルト／ズームスライダーやマウス動作選択ボタンを[クリックセンタリング]にして操作します。
- (3) 複数の画角固定領域を設定する場合は、操作(1)～(2)を繰り返す

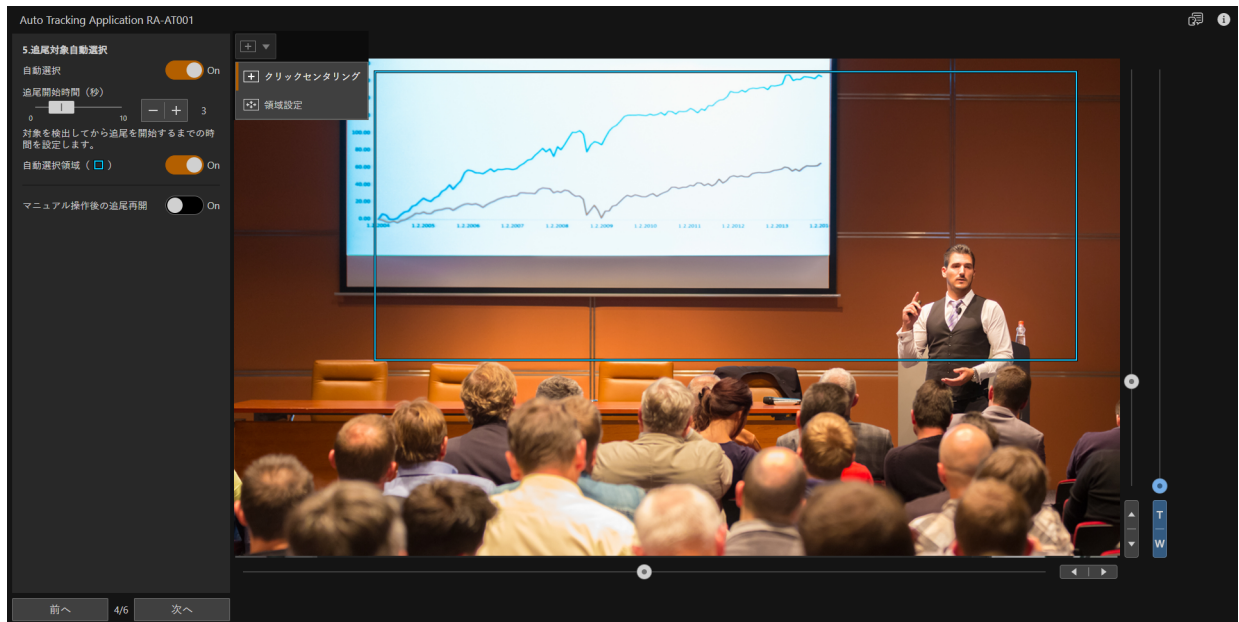
メモ

- 画角固定領域は撮影範囲内に設定します。
- [表示]をクリックすると、現在設定されている画角を表示します。

3 [次へ]をクリックする

Step4 追尾対象を自動で選択する

追尾対象を自動的に選択して、追尾を開始するときの設定を行います。



1 [自動選択]を選択する

[On]にすると、自動選択領域内に入った人物を自動的に追尾対象にして、追尾を開始します。

2 [追尾開始時間 (秒)]を設定する

自動選択領域内に存在する人物を追尾対象に決定するまでの時間を設定します。自動選択を[On]にしたときのみ設定できます。

3 [自動選択領域]を設定する

(1) [自動選択領域]を[On]にする

- 映像表示部に枠が表示されます。

(2) 枠の位置とサイズを調整する

- 枠の位置やサイズを調整するときは、マウス動作選択ボタンを[領域設定]にして操作します。
- 画角を変更するときは、パン/チルト/ズームスライダーやマウス動作選択ボタンを[クリックセンタリング]にして操作します。

メモ

- [自動選択]を[On]にしたときのみ選択できます。
- [自動選択]を[On]、[自動選択領域]をオフにしたときは、撮影している画角全体を対象に自動選択します。

4 [マニュアル操作後の追尾再開]を選択する

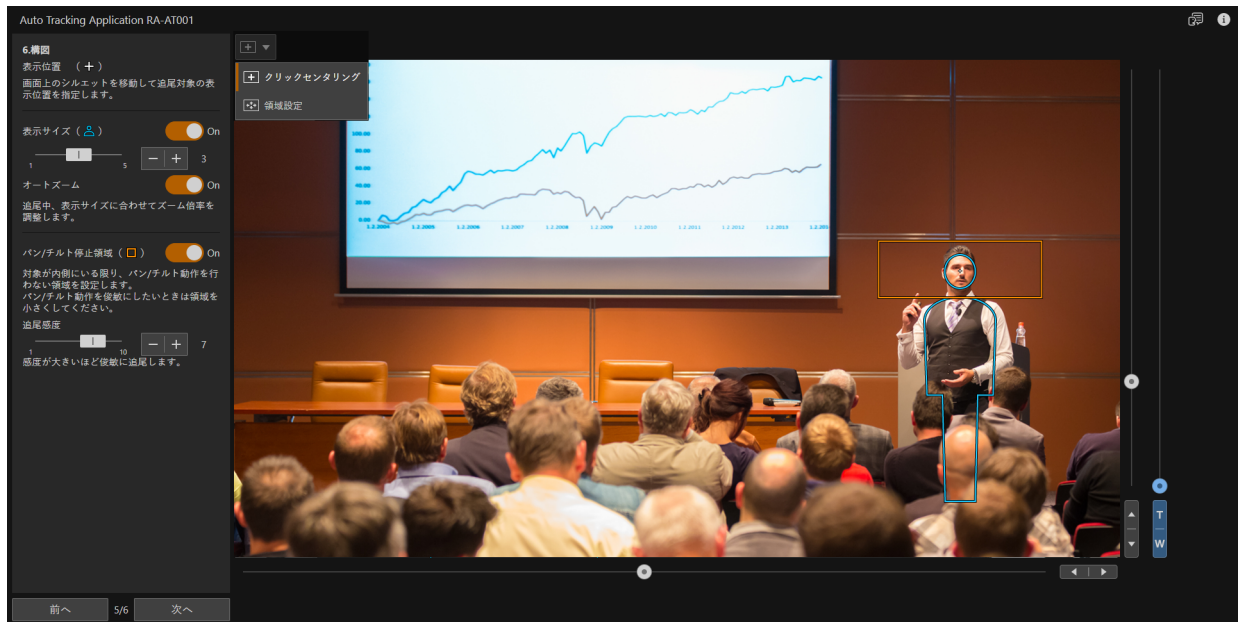
リモートカメラコントロールアプリなどの本アプリ以外の機能でパン/チルト/ズーム操作が行われた場合、自動追尾によるパン/チルト/ズーム制御は中止*されます。[On]にすると、自動で追尾を再開します。

* 条件によっては中止しないことがあります。

5 [次へ]をクリックする

Step5 構図を設定する

追尾対象の表示位置や、ズーム時の大きさ、パン／チルト停止領域、追尾感度を設定します。



1 [表示位置]を設定する

画面上にシルエットが表示されます。シルエットをドラッグして追尾対象の画面内での表示位置を設定します。

メモ

- 追尾対象をロストしやすいため、画面端には設定できません。
- 優先表示領域を設定しているときは、優先表示領域が優先されます。

2 [表示サイズ]を設定する

[On]にすると、追尾対象の撮影サイズを設定するシルエットが表示されます。シルエットの顔の大きさが撮影時の追尾対象の顔の大きさの目安になります。撮影したい大きさに合わせて、サイズを調整してください。

- [オートズーム]を[On]にすると、指定した撮影サイズを維持するために、追尾中にズームを行います。

メモ

[チルト動作固定] (P. 11) が[On]の場合、ズームインによって追尾対象が画面外に外れてしまう場合には、それ以上ズームインされません。

3 [パン／チルト停止領域]を設定する

[On]にすると、映像表示部に枠が表示されます。パン／チルト動作を行わない領域を設定できます。設定した領域に追尾対象がいる限り、パン／チルト動作を行いません。講師などの小さな動きに映像を連動させたくないときに設定します。パン／チルト動作を俊敏にしたいときは領域を小さくしてください。

オフにすると、[追尾感度]に合わせて追尾動作を行います。

メモ

- [パン／チルト停止領域]の中心位置は[表示位置]で設定したシルエットの顔の中心と同じ位置になります。
- [表示サイズ]を変更したときは、追尾対象が[パン／チルト停止領域]に収まるように領域の大きさを見直してください。
- 追尾対象の細かな動きに合わせてパン／チルト動作をすると映像が見づらくなることがあります。

4 [追尾感度]を調整する

追尾対象を追尾する感度を調整します。値が大きくなるにつれて、俊敏な追尾動作を行います。

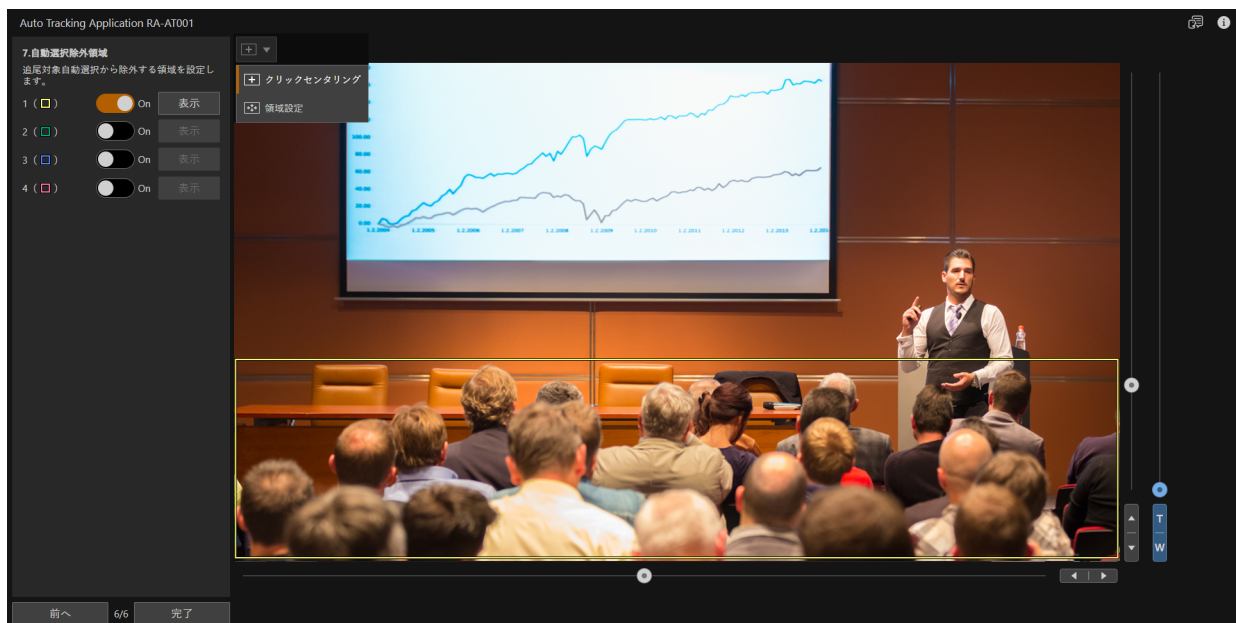
メモ

カメラを機材に載せてゆっくりと移動させて撮影する場合は、[追尾感度]を[1]に、[パン／チルト停止領域]を最小サイズに設定してください。

5 [次へ]をクリックする

Step6 自動選択除外領域を設定する

追尾対象を自動的に選択する場合、追尾対象を検出したくない領域（自動選択除外領域）を設定します。追尾対象自動選択領域内に人物が写ったポスターなどがあるときに使用します。自動選択除外領域は4個まで設定できます。



1 自動選択除外領域を設定する

(1) [自動選択除外領域]の[1]～[4]のいずれかを[On]にする

- 映像表示部に[On]にした自動選択除外領域に対応する色の枠が表示されます。

(2) 枠の位置とサイズを調整する

- 枠の位置やサイズを調整するときは、マウス動作選択ボタンを[領域設定]にして操作します。
- 画角を変更するときは、パン／チルト／ズームスライダーやマウス動作選択ボタンを[クリックセンタリング]にして操作します。

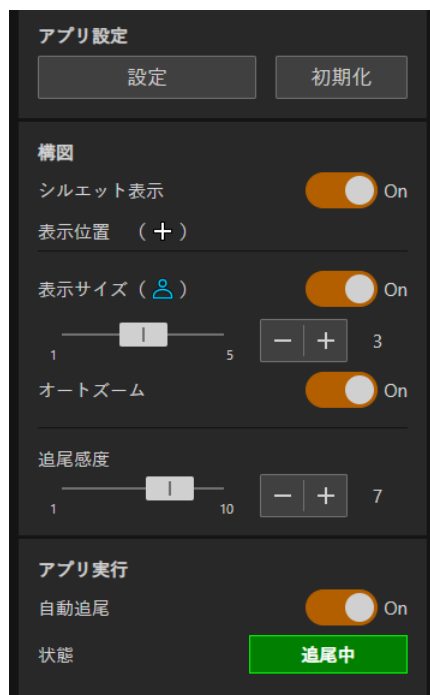
(3) 設定したい領域の数だけ繰り返す

2 [完了]をクリックする

撮影する

自動追尾撮影を開始する／終了する

■ 自動追尾の開始／終了



自動追尾を開始する

[自動追尾]を[On]にすると、自動追尾が開始されます。

- [自動選択] (P. 14) がオフのときは、手動で追尾対象を選択します。
- 自動追尾が開始されると、[状態]のアイコンが変化します。[状態]は以下の5つがあります。

状態	意味
対象未選択	追尾対象が未選択
対象探索中	追尾対象を探索中
追尾中	追尾撮影中
対象ロスト	追尾対象を見失っている
画角固定中	画角を固定している

自動追尾を終了する

[自動追尾]をオフにする。

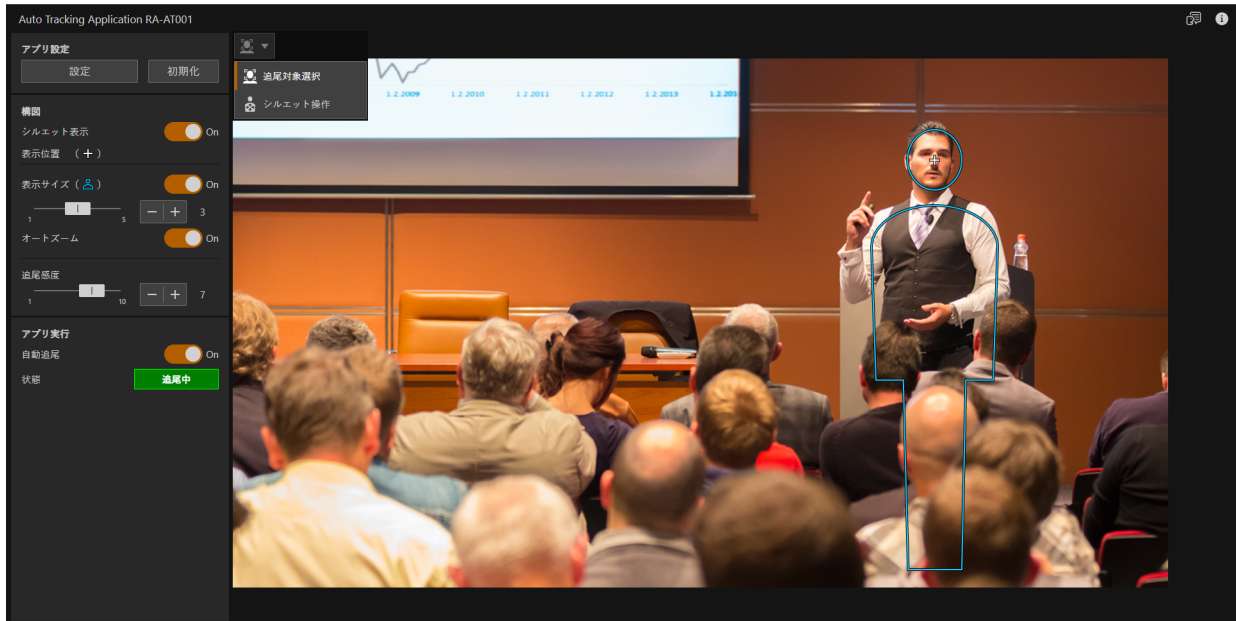
メモ

カメラ側で以下の操作を行ったときは、[初期化]をクリックしてすべての領域を初期化したあと、再度領域を設定してください。

- [デジタルテレコン]の焦点距離の倍率を変更したとき
- [映像反転]の設定を変更したとき

■ 自動追尾実行中に設定を調整する

自動追尾中に調整できる項目が設定エリアに表示されます。[シルエット表示]以外の設定項目は（P. 15）を参照してください。



[シルエット表示]

[On]にすると、追尾対象のシルエットを表示します。シルエットをドラッグして、追尾対象を表示する位置を調整できます。



重要

追尾実行中に変更した設定は、自動追尾アプリを停止したり、カメラの電源を落とした場合には保存されません。設定を保存したい場合は、[設定]ボタンをクリックして設定ウィザードから変更してください。



メモ

映像表示部を確認しながら少しずつ調整してください。[表示位置]や[表示サイズ]、[追尾感度]を大きく変更すると追尾対象をロスすることがあります。

■ 追尾対象について

カメラからの距離が約3～30 m*までの追尾対象を追尾できます。

* 距離は目安です。撮影環境（撮影サイズ、追尾対象の移動速度）により異なります。



メモ

カメラ本体のズーム性能により、[表示サイズ]で設定している大きさに調整できない場合があります。

その他

トラブルシューティング

販売店やお客様相談センターに連絡する前に、次のことを確認してください。



メモ

- カメラ本体やコントローラーなどのトラブルシューティングについては、各使用説明書を参照してください。
- お使いのカメラによって、対応していない機能や設定があります。

問題	対処方法
アプリが起動しない	<ul style="list-style-type: none">• 正しくライセンスがインポートされているか確認してください。• カメラ本体の日時が正しいか確認してください。
アプリが開かない	<ul style="list-style-type: none">• アプリを起動しているか確認してください。
追尾対象が自動で選択されない	<ul style="list-style-type: none">• [自動選択]がオフになっている。[On]に切り換えるか、手動で選択してください。• [自動選択領域]の設定を確認し、領域が狭い場合は設定を見直してください。
追尾対象の移動に追従できない	<ul style="list-style-type: none">• 以下の場合、撮影環境（撮影サイズ、追尾対象の移動速度）によっては追尾対象をロストすることがあります。設定を見直してください。<ul style="list-style-type: none">– [表示サイズ]の設定値が大きすぎるとき– [追尾感度]の設定値が小さすぎるとき– [パン／チルト停止領域]の設定領域が広すぎるとき– [表示位置]を画面端部に設定しているとき– [優先表示領域]から離れすぎたとき
黒板／スクリーンなど常時画角に入れたいエリアが画角から外れる	<ul style="list-style-type: none">• 常時画角に入れたいエリアを優先表示領域もしくは固定画角領域に設定してください。
自動追尾中に手動でパン／チルト／ズーム操作を行うと、追尾が停止したままになる	<ul style="list-style-type: none">• [マニュアル操作後の追尾再開]がオフになっています。[On]に切り換えてください。• 追尾対象を手動で選択して自動追尾を再開してください。
追尾対象が正しく検出されない	<ul style="list-style-type: none">• カメラ本体の使用説明書の顔が検出されない例に該当していないかご確認ください。• 初期位置の画角で追尾対象が小さすぎる可能性があります。追尾対象を大きく映るようにすると改善することがあります。• ポスターや複数人が[自動選択領域]にいと取り違える可能性があります。[自動選択除外領域]の設定を確認し、追尾対象を特定できるようにしてください。撮影状況により回避が難しい場合は、オペレータによる補正作業ができる環境にてご使用ください。
暗い撮影環境で顔が検出されない	<ul style="list-style-type: none">• カメラ側の設定ページにて[顔検出AE]を有効にすることで改善することがあります。
追尾対象が後ろを向いているときに正しく検出されない	<ul style="list-style-type: none">• 後ろ向きの追尾対象を追尾可能な機種の場合、大きく映るようにすると改善することがあります。対応機種については、本アプリのダウンロードページをご覧ください。• オペレータによる補正作業ができる環境にてご使用ください。
追尾対象が後ろを向いたときに、追尾対象をロストし画角が変わる	<ul style="list-style-type: none">• 以下の設定を確認してください（P. 12）。<ul style="list-style-type: none">– [対象をロストしたときの画角制御]– [初期位置に戻るまでの時間（秒）]
追尾中の動作が重く、反応が悪い	<ul style="list-style-type: none">• ネットワークの通信状態を確認してください。• 以下の場合、追尾中の動作が重くなる可能性があります。設定を見直してください。<ul style="list-style-type: none">– [追尾感度]の設定値が小さすぎるとき– [パン／チルト停止領域]が大きすぎるとき

問題	対処方法
カメラが細かく追尾しすぎる	<ul style="list-style-type: none"> • 以下の場合、細かく追尾しすぎてしまうことがあります。設定を見直してください。 <ul style="list-style-type: none"> – [表示サイズ]の設定値が大きすぎるとき – [追尾感度]の設定値が大きすぎるとき – [パン／チルト停止領域]が小さすぎるとき • 追尾対象を大きく撮影しているときは[追尾感度]を小さくしてください。 • ズーム動作が不要なときは[オートズーム]をオフにしてください。 • 追尾対象が黒板の前や講演台など、特定の位置から離れる場合のみ追尾を行いたいときは、[画角固定領域]を使用してください。
画面に表示される設定項目が不足している	<ul style="list-style-type: none"> • 使用環境によっては、すべての設定項目が表示されないことがあります。
[追尾中]が表示されているのにパン／チルト／ズーム動作が行われない	<ul style="list-style-type: none"> • 以下の場合、パン／チルト／ズーム動作が行われません。 <ul style="list-style-type: none"> – 優先表示領域が画角の端付近にあるとき – 画角固定表示領域内に人物がいるとき – 撮影している画角が撮影範囲の端付近のとき – [マニュアル操作後の追尾再開]が[On]で、追尾中に他機能からパン／チルト／ズーム操作されているとき – 追尾対象の[自動選択]がオフで、追尾対象を手動で指定していないとき
追尾対象をロストして初期位置に戻った場合に、[自動選択]が[On]でも追尾対象が検出されない	<ul style="list-style-type: none"> • 初期位置の画角が広い場合、追尾対象が検出されていない可能性があります。初期位置の画角を見直してください。
自動追尾設定画面に最新の状態が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> • アプリのWebブラウザを再読み込みしてください。
アプリの動作が遅い ネットワーク配信映像がフレーム落ちする	<ul style="list-style-type: none"> • カメラ側の設定ページで、[システム]>[映像と音声]>[IP配信映像]>[メインストリーム]>[目標ビットレート (Mbps)]の設定を低くしてください。 • クライアントが同時に表示する映像表示画面の数を少なくしてください。

エラーメッセージ


画面にメッセージが表示されたときは、次のような対処をしてください。

メッセージ	対処方法
撮影範囲外の領域設定があります。 撮影範囲または範囲外の領域設定を変更してください。	設定した領域が設定可能な領域 (P. 8) を超えた範囲で設定されている。撮影範囲を広げるか、撮影範囲以外の領域設定を変更する。
撮影範囲外に設定されています。	
領域設定に矛盾があります。 警告表示している設定を見直してください。	
領域が範囲外です。	カメラが表示できない領域が設定されている。[画角固定領域]の設定を変更する。
顔検出AFの設定を確認してください。	[顔検出AF]が無効になっている。カメラ側の設定ページで有効にする。
エラーが発生しました。カメラを再起動してください。	内部エラーが発生している。カメラ本体を再起動する。
カメラへの接続が最大クライアント数を超えているため、映像を表示できません。	カメラに接続しているほかのクライアントを切断する。
カメラに接続できませんでした。	カメラと接続できていない。カメラ本体の設定を確認する。カメラ本体を再起動する。

商標文

- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- その他、本書に記載された商品名、社名などは各社の商標または登録商標です。

第三者のソフトウェア

このカメラには、第三者のソフトウェアモジュールが含まれています。各モジュールのライセンス条件につきましては、自動追尾設定画面の  > [第三者のソフトウェアライセンス条件]からご確認ください。

本書の内容は2023 年7 月現在です。本アプリケーションの仕様や本書の記載内容は、将来予告なく変更することがあります。